

教育だより

発行: 芦別市教育委員会学務課

☎0124-27-7586

| | |
|----|-------------------------------------|
| 目次 | 1面 「学校力向上」に向けた取組について |
| | 2面 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について |
| | 3面 「炭鉄港」をテーマにふるさと教育を推進、留守番電話の導入について |
| | 4面 リレーでつなぐ学校紹介(みどり幼稚園)、夏休み中に学習会を実施 |

「学校力向上」に向けた取組について

本市では、令和3年度に北海道教育委員会から「学校力向上に関する総合実践事業」の地域指定を受け、芦別小学校を中核校として市内全体で本事業に取り組んでいます。

「学校力向上に関する総合実践事業」とは、学校の管理職(校長)のリーダーシップのもと、全教職員が1つのチームとなり、学力の向上や業務の効率化などの学校における課題を解決し、学校の総合力を高めることを目的としたもので、主に次のような取組を推進しています。

1. 学力の向上

現在本市では、芦別小学校及び上芦別小学校5・6年生の理科において、1教員が1教科を担当する「教科担任制」を導入しています。このことにより、専門性を持った教員の指導で授業の質が高められるとともに、中学校理科教員と連携し、各学校の校内研修等に参加することで、小学校と中学校の円滑な接続を図り、小学校から中学校へ進学した際に生じる心の不安や、それに伴って不登校傾向になってしまう「中1ギャップ」の未然防止にもつなげていきます。

このほかにも、板書に使用するチョークの色やマーク、授業後の学習の「振り返り」に関わる様式をすべての学校で統一し、「芦別スタンダード」として授業スタイルの確立を目指しています。

各学校ではこの「芦別スタンダード」に基づき、日常の授業改善を通して学力の向上を図っています。



2. 学校における働き方改革

本市の小中学校における働き方改革については、北海道教育委員会が作成した「学校における働き方改革『北海道アクション・プラン』」に基づき、「芦別市立学校における働き方改革推進プラン」を策定し、取組を進めています。

教育委員会では、令和2年度に小中学校にタイムカードを導入し、教職員の時間外在校等時間を把握・計測しています。この結果については市のホームページでも公表していますが、各学校においても校内で毎月公開するとともに、業務の進捗状況を可視化することで、業務の計画的な推進を図っています。

また、ICTの更なる活用により、職員会議等の打合せをはじめとする業務の効率化を図り、学校経営の改善と教育の質の更なる向上に努めます。

「学校力向上」に向けた取組として、学力の向上や学校における働き方改革の推進のほか、学校が安心して学べる居場所であり、よりよい人間関係を形成する場となるよう、児童生徒、保護者を対象としたアンケート調査や学校生活における児童生徒の満足度や意欲を質問紙によって把握するハイパーキューキューを実施し、これらの結果を踏まえながら教育活動を行っています。

教育委員会では、北海道教育委員会の助言を受けながら、小中学校とより一層連携して学力の向上を図り、児童生徒の健全育成を進めてまいります。



令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

毎年4月に、文部科学省が全国の児童生徒の学力や学習状況を把握するため、小学校6年生と中学校3年生を対象として実施している、全国学力・学習状況調査が、今年度も4月19日（火）に実施されましたので、学力調査の結果概要についてお知らせします。なお、児童生徒質問紙による学習状況調査結果や学力調査結果の詳細と調査結果に基づく改善策については、後日、市のホームページでお知らせします。

芦別の子どもたちの学力は



グラフは、教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び芦別市の状況をレーダーチャートで示したものです。

（芦別市の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出しています。）

☆小学校6年生の教科全体の状況☆



小学校の分析

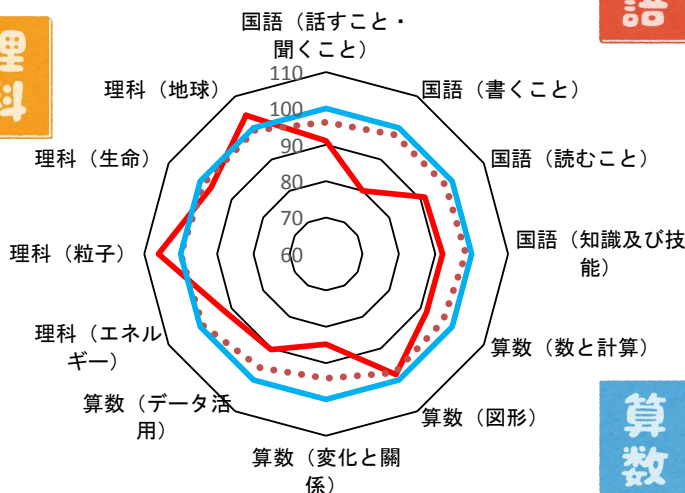
国語については、各領域とも全国平均より低い状況にあり、特に「書くこと」が低くなっています。

算数については、「図形」の領域はほぼ全国平均と同様となっていますが、他の領域は低くなっています。

理科については、全体的に全国平均に近い結果となっており、特に「粒子」「地球」の領域では、平均を上回っています。

— 芦別市 — ●●● 北海道 — 全国

理科



国語

算数

☆中学校3年生の教科全体の状況☆



中学校の分析

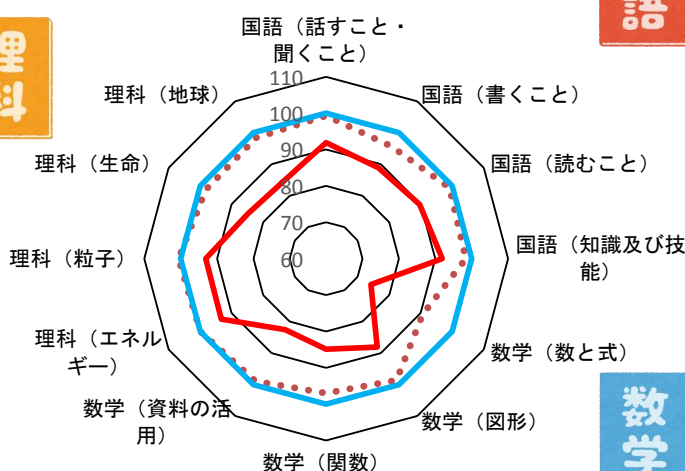
国語については、各領域とも全国平均より低くなっています。

数学については、「数と式」の正答率が特に低く、全体を押し下げています。

理科については、「エネルギー」「粒子」の領域では全国平均に近い結果となっていますが、他の領域が低くなっています。

— 芦別市 — ●●● 北海道 — 全国

理科



国語

数学

「炭鉄港」をテーマにふるさと教育を推進

本市の歴史を知るうえで重要な役割を果たしてきた炭鉱の歴史。令和元年5月に道内の関係市町とともに「炭鉄港」として日本遺産に登録され、現在では本市のガタタンをはじめとする「炭鉄港めし」が道内で販売されるなど、人気を博しています。

各小中学校でも毎年「ふるさと教育」の一環として炭鉄港について学習しており、百年記念館や赤平市の炭鉱遺産ガイダンスなどを訪問したり、修学旅行先の小樽市では、空知で採掘された石炭が鉄道で輸送され、小樽港から日本各地へ運び出されていたことを学んだり、各学年に即した内容で、当時の炭鉱の様子や、炭鉱が果たしてきた役割について学習しています。

7月29日、8月2日には、新たに市内に異動してきた小中学校教職員を対象とした市内見学会を実施しました。

今回の見学会では、炭鉄港をメインテーマとして、炭鉄港の構成文化財である星槎大学（旧頼城小学校校舎・体育館）、旧三井芦別鉄道炭山川橋梁を見学したほか、これらの文化財以外にも点在している市内の炭鉱跡地について、炭鉱にまつわる歴史や逸話などを百年記念館学芸員から説明していただきました。

参加した教職員からは「実際に炭鉄港の構成文化財を訪れることができ、とても勉強になった。」「芦別の子どものための学びに、地域の教育資源として活用したい。」との声が上がりました。

教育委員会では、今後もこのような機会を設け、教職員の方々にも本市の歴史をより深く認識してもらうことで、各学校における「総合的な学習の時間」や社会科の授業等の更なる充実を図り、本市の「ふるさと教育」のより一層の推進につなげていきます。



旧三井芦別鉄道炭山川橋梁での様子

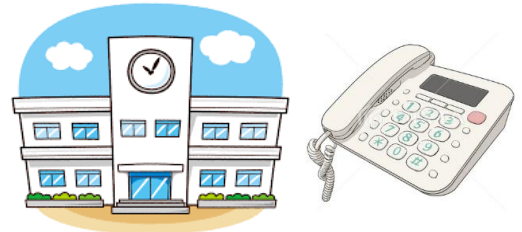
市立小中学校への留守番電話機の導入について

教育委員会では、教職員の健康管理や教育活動の充実、業務改善などの様々な観点から「働き方改革」を進めています。

この取組の一環として、教職員の勤務時間外における業務負担の軽減を図り、教員の本来の業務である授業づくりや子どもたちの指導に専念できる環境を整えるため、すべての小中学校に留守番電話機（応答専用対応）を導入することとしました。

現在、年内での運用開始に向け、緊急時の連絡体制などの対応について準備を進めていますので、詳細が決まりましたら、改めて広報紙や教育だより等でお知らせいたします。

保護者の皆様をはじめ、市民の皆様には、ご理解とご協力をお願いいたします。



保護者・地域の皆さまへ

教育だよりは、本市の学校教育の現状や課題、さまざまな施策や取組などを広く市民の皆さんに知っていただき、情報を共有するため年3回発行しています。

本市の学校教育の向上に関するご意見を「郵送」、「ファックス」、「電子メール」（様式自由）にてお寄せください。

【送付先】〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市教育委員会学務課学校教育係
 【電話】0124-27-7586 【ファックス】0124-22-9696
 【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp

～リレーでつなぐ学校紹介～

リレー方式で市内の教育機関の取組を掲載しています。

第7回目は

認定こども園

芦別みどり幼稚園！

小学校就学前までに身につけておきたい

生活習慣と社会的ルール ～幼稚園の取組み～

幼稚園とは異なる小学校という新しい環境の中で、少しでも困った感を緩和できるよう、入学前の基礎作りをしっかりと身につけられるよう日々の積み重ねを大切にしています。

今回は、小学校での生活を意識した基本的な生活習慣や社会ルールについての取組を紹介します。

☆挨拶をしよう☆

「おはよう」「ごめんなさい」「ありがとう」がきちんとと言える子

☆大きな声で返事をしよう☆

名前を呼ばれたら大きな声で「はい」とと言える子

☆人の話をしっかり聞こう☆

人の話を聞き逃さず、また意思表示ができるよう相手の目を見て話せる子

☆トイレで用を足そう☆

トイレに行きたいから行くのではなく、行ける時に行っておく習慣づけができる子

☆自分のことは自分でしよう☆

衣服の着脱・畳むを含め、日頃から自分の身の回りのことは自分でできる子

☆箸を持って食べよう☆

日本の食文化の継承を兼ね、正しく箸を使って食べる子

☆時間を意識した行動をしよう☆

小学校の授業時間を意識して45分間離席しない、食事、片付け、排せつ、遊び等の始まりと終わりの意識づけができる子

☆安心・安全に過ごそう☆

信号や横断歩道の渡り方、不審者への警戒心、危険回避、命の尊さがわかる子

上記に重点を置きながら、就学に向けての基礎作りに取り組んでいます。日頃の成果が実を結び、ほとんどの子が、卒園前には習得できています。

認定こども園 芦別みどり幼稚園

園長 須藤 美紀子



夏休み中に学習会を実施

7月26日から、市内小中学校で2日間～3日間の夏休み補充学習が行われ、当日は学校が用意した課題や、持参したワーク等に取り組みました。小学校では、芦別高等学校の生徒にもボランティアとして協力いただき、分からない問題を教えてもらいながら学習に取り組み、中学校では、タブレットを活用し、個々のペースで精力的に学習に取り組みました。



また、8月16日、17日は総合福祉センターにおいて小学生を対象とした「やさしいサポート教室」を開催しました。両日ともに多数の児童が参加し、用意された問題や、持参した課題に取り組みしていました。

16日は低学年、高学年に分かれ、図書館司書によるブックトークを実施し、子どもたちは熱心に司書の話に耳を傾け、学習会終了後には、多くの子が会場外に来ていた移動図書館車「ブックくん号」を利用し、司書が紹介した本を借りていました。